

御岳山の裏参道を緩やかに登り忘年会を 忘年山行 (Aコース)

12/9 鳩ノ巣駅～御岳・山楽荘

12/10 御岳～大岳山～鋸山～奥多摩駅

実施日 2017年12月9日(土)～10日(日)

天候 晴れ

リーダー 白石 恵美子

参加者 服部美千代、涌井良明、山崎
富美恵、白石恵美子、石附智
江、渋谷京子、中村友子、宇野
輝代、岩崎陽子、徳山敬子、石
附恵理子、峯川弘子、宮崎敏
男、阿部一郎若村勝昭、若村貴
世子、安田三恵子、渋谷賢寿、
阿部みゆき、瀧澤きよの(12/10
のみ) 計20名

費用 交通費 1,187円 宿泊 13,000/
14,200円

タイム 12/9 鳩ノ巣駅(10:47-11:05)城山
(12:35-13:05)大檜峠(13:40)
山楽荘(15:15)

12/10 山楽荘(8:06)御嶽神社
(8:18)鍋割山分岐(9:26)
大岳山荘(10:00-10:10)大
岳山(10:26-10:47)鋸山(1
2:08-12:36)小休止(13:37
-13:45)奥多摩駅(14:49)

12/9 Aグループ14名は鳩ノ巣駅から
多摩川まで下り、雲仙橋を渡り、し



しばらく車道を歩くと御岳山への
登山道が林道工事のため、「迂回」
の矢印があり、

迂回させられ、当初の予定より25分程
オーバーして、昭文社の地図には道の載
っていない城山に着き、眺望もなく寒い
ため、そそくさと昼食を取り、出発。

前日に降ったのか、うっすらと雪が
積もっており、途中の橋も雪で
滑りそうなので慎重に渡る。



大檜峠を通過し、御嶽神社に
は寄らず、神代櫓の手前でBグル
ープとバッタリ！まるで待ち合わせて
いたかのようなタイミングの良さ！
何年ぶりに再会したかのように喜び
合い、本日の宿、山楽荘へ。

6時スタートの忘年会は山楽荘ならで
はの精進料理がズラリ。我々の年齢層に
は丁度良いメニューだろう。



宿の主人の漫談？も聞きながら、
料理と共にビール・日本酒・焼酎
と飲み物も

フルコースでゴキゲンな宴会となった。
今回は、豪華賞品？争奪の山に関する○
×クイズもあって大いに盛り上がった。
普段から山の知識をため込んでいおくと
こんな時に勝ち抜く秘訣になりますね。
尤も確率50%をすり抜ける方法もあり
ですが(^ ^)

何時ものように持ち寄ってくれた飲み
物やつまみでしばらく後宴会もあって明
日の長い歩きに備えて就寝です。明日も
天気は良さそうだ。

12/10 朝一番の
ケーブルで到着し
た1名を加えて含
め、Aグループ10



名は他のグループより一足先に出発。

御嶽神社の階段の下で山行の無事を祈願し、本で行われるトレランススタッフから、道が凍っているから気をつけるようにと言われる。



神社下の随神門をくぐった先で長尾平を過ぎ、滝めぐりコースと別れて直進する。

北斜面は雪があるため、道の端や枯葉のある滑りにくそうな所を選んで慎重に登る。登りながら、この辺でこんなに雪があるのだからもっと上に行ったら大丈夫かなと内心少し不安になったが、雪があるのは北斜面だけで、この先の南斜面と稜線に出れば雪はないからという言葉に、安心して進む。しかし、夕べ、

「この時期はアイゼンは必携よ」と大先輩に言われた事を思い、反省する。



今回はアイゼンを着ける程ではなかったが、備えあれば憂いなしだ！鍋割山、奥の院には行かずに直進する。

大岳山の手前の鎖場、ハシゴ、岩場を過ぎると大岳山荘に着く。

そこから20分程で大岳山の山頂に着く。



青空を背に真っ白く雪をかぶった富士山が我々を迎えてくれた。

大岳山から

は岩の間を一気に急下降する。その後は気持ちのよい落葉樹林の尾根道に行く。

鋸山分岐で、御前山に向う一人と別れ、9人は暫くして鋸山山頂に着く、展望はない。そこから急下降し、岩場の混じったゴツゴツとした尾根になる。



途中、短い鎖場コースと一般コースとに別れる箇所があり、リーダーを含め4人は一般コース、

残りの5名は鎖場コースを下る。

ハシゴのかかった岩峰に登り、そこから岩場を急下降すると、愛宕山との鞍部に出て一登りで愛宕山に着く。

愛宕神社で、本日の山行の無事を感謝

し、今後の山行の無事を祈願し、急な階段を下り、愛宕山登山口の園地を横切り、昭和橋を渡って奥多摩駅に着いた。



「忘年山行のコースじゃないよな」とか言いつつ、付き合ってた皆様、お疲れ様、ありがとうございました。

また一緒に歩いて頂けたら嬉しいです。

(記・白石 恵美子)

(一部追加文&写真提供・涌井 良明)



忘年山行 (Bコース)

(日の出山コース)

実施日 2017年12月10日(日)

天候 晴れ

リーダー 渋谷 京子

参加者 山崎富美恵、石附智江、渋谷京子、徳山敬子、石附恵理子、阿部一郎 計6名

タイム 山楽荘(8:35)日の出山(9:20~35)麻生山(10:30~45)昼食(12:10~25)金比羅山(13:20~30)武蔵五日市駅(14:20)

国民宿舎「山楽荘」女将さんの見送りに礼をし、8時35分宿を後にした。朝陽が眩しい！

一昨日の雪が残る中、山道を下って行く。霜か雪か纏わり付いた木の葉がサクサクと耳に心地良い。

左斜面に巨大な岩山が迫り、右手には大岳山の全容が見渡せる。今頃どの辺りかな〜と想いを馳せる。

程なく東雲山荘そして日の出山山頂に到着。北東側の展望が開ける。

小休止後写真に収まり、延々と続く木段を下っていく。

お馴染みの左は明るい落葉樹、右は針葉樹林を下って登り返すと麻生山。北面のみ眺めは良く多摩湖、西部ドームが眼に入る。

落ち葉で隠れた急坂を転げ落ちんばかりに下って行くと緩やかな道になった。

樽窪の峰を過ぎ白岩山の分岐を左にわけ金比羅尾根をぐんぐん下る。そしてハプニング発生！！

570m付近、右手に杉の木の根元近くにピンクテープが巻いてあった。しかも二カ所。左はカーブしていて迷った末、右の斜面を6~7分下ってしまった。

秩父線の送電線に突き当たり地図と照らし合わせ、コースを外れた事に気付く元の道に登り返した。

20分のロスタイム、冷静に考えるとリボンが木の枝に巻いてあるのに早とちりもいいところ、メンバーに謝り気を取り直して下り始める。

12時を過ぎていたので道幅が広がったところで昼食タイム。

北風が冷えた身体に堪える。

15分位で切り上げ金比羅山を目指す。アップダウンを繰り返す林道を越すと漸く琴平神社のある金比羅山に辿り着いた。

トイレを済ませエネルギー補給後、里山を目指し真っ赤なサザンカのトンネルを一気に駆け下りた。

五日市の市街地に入り道標に導かれ、長い長い尾根コースもやっと終わり駅舎に到着した。

B班に参加された皆様、私の不注意で一部道迷いの失態に至り申し訳ありませんでした。

まだまだ未熟で今後活かしたいと思えます。有り難うございました。又、ご一緒に〜！

(記・渋谷 京子)